



平成 29 年 11 月 11 日 本校講堂にて

“「爽快」という歴史を刻みたい” ～70 周年記念式典より～

70年の伝統。歴史ある春吉中学校を爽やかにしていきたい。この思いからつくられた今年のスローガン、「爽快」。爽快とは、爽やかで気持ちが良いという意味だ。このスローガンには、全校生徒が気持ち良く、過ごしやすい学校にしていきたいという思いが込められている。「爽やかさ」を一番に重要視している学校は多くないはずだ。だからこそ、春吉中を大きく成長させ、新しい風を吹かせていくことが出来ると感じている。

僕が思う爽やかさは、達成感を仲間と一緒に分かち合うことにもつながってくると思う。心を一つに団結し、努力をしないと達成感は生まれない。体育会や合唱コンクールで、学級、学年、学校全体が一つになり、一生懸命に努力した結果、目標を達成することができれば、それが爽やかさだと思う。また、目標を達成することはできなくても、一生懸命に努力した過程も、爽やかさにつながっていくと思う。

心を一つに団結するために、人と人をつなぐものとして大切なものが、あいさつだと思う。大きく明るい声で、一度立ち止まり、相手の目を見てのあいさつ、名前を呼んでのあいさつ、このようなあいさつが出来れば、間違いなく誰もが過ごしやすい、爽やかな学校に近づいてくはずだ。すれ違った人へのあいさつだけではない。授業の終始のあいさつも、大きな声で行うことにより、気持ちよく授業をスタートできると思う。また、生徒たちだけでなく、授業をしてくださる先生方にも、気持ちが入ると思う。あいさつは、人と人をつなぐものだと思う。そのあいさつ全校生徒ができるような、学校は一つになってくると感じている。

あいさつと、チームワークを大切に努力すること、この二つの事を意識し、70年の歴史をこえて、春吉中に「爽快」という歴史を刻んでいきたい。

70期生徒会会長 平松理人